

微生物学講座 助教候補者の公募について（再公募）

1. 募集人員 助教 1名
本学では任期制を採用し、任期を5年（再任可。1回限り）としております。
2. 専門分野 微生物学・感染症学
3. 応募資格 ①博士の学位を有する者（採用時に博士の学位を有する予定の者を含む。）
②査読のある雑誌の第一著者の論文（症例報告を含む）を1編以上有する者
③当該専門分野における研究業績があり、大学院修士課程及び博士課程における教育・実験実習等が担当できること
④科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲があること
⑤地域貢献活動等、全学的活動に積極的に寄与できること
⑥英語で講義ができることが望ましい
4. 採用予定日 令和6年3月1日以降のできるだけ早い日
5. 応募締切日 令和5年12月27日（水）17時必着
※応募状況によっては、応募締切を延長する場合があります。
6. 提出書類 ①履歴書（別紙様式1）
②教育研究業績書（別紙様式2）
③科学研究費等獲得一覧（別紙様式3）
④今後の研究計画並びに医学教育に対する抱負（A4用紙1枚程度）
⑤応募者に関して意見を求めることができる方1名の氏名とE-mailアドレス等の連絡先。（提出いただいた書類に含まれる個人情報、今回の選考以外の目的には使用しません。）
7. 応募先 〒930-0194 富山市杉谷 2630 番地
国立大学法人富山大学 学術研究部医学系長（医学部長） 宛
※応募は原則として郵送（書留）とし、封筒の表に「微生物学講座助教候補者 応募書類在中」と朱書してください。応募書類は原則としてお返しいたしません。
8. その他 ・微生物学講座で取り組んでいる、微生物・感染症に関わる教育活動業務と研究業務に加えて、診療や社会要請に応じた特殊解析業務に従事していただきます。
・希望する人材
 1. 医学に関わる教員であることを自覚し、常に向上心を持ち、責任ある行動をとれること
 2. 感染症研究の技術・知識習得に尽力できること
 3. 自身で研究を立案できること、またはその意識があること
 4. 後進育成に尽力できること
 5. 研究室において、申し合わせを遵守し、他者を尊重し、コミュニケーションを取る努力ができること
 6. 自分の知識・技術をプロジェクトに活かす努力ができること
 7. 医療の中で求められる責任を自覚し、臨床を理解しようとする努力

ができること

8. 研究室に関わる事項について、報告、連絡、相談を行う意識があること

9. 下記 a)～e)のいずれか1つ以上の研究・業務経験があることが望ましい。

a) 微生物学 b) 動物を用いた研究経験 c) 微生物検査・診断業務
d) 遺伝子解析（次世代シーケンス含む） e) 臨床検体処理・管理業務

・選考の段階で面接を実施する場合があります。その際の旅費等はご自身の負担となります。

・労働条件については、本学職員就業規則によることとします。

なお、本学では令和2年4月1日から新年俸制（退職時に退職手当を支給する年俸制）を導入し、本公募による採用の際にもこの新年俸制を適用します。

（給与に関するお問い合わせ先：総務部人事課 076-445-6524）

9. 本件に関する照会先

国立大学法人富山大学 杉谷地区事務部

総務課 医薬系支援チーム 医学人事担当

電話 (076) 434-7016 E-mail ninyou@adm.u-toyama.ac.jp

○ 富山大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

富山大学ダイバーシティ推進宣言に基づき、全学的に女性研究者を含め多様な人材が活躍できるよう、教育・研究活動と生活の両立支援、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。

男女共同参画推進やダイバーシティの取り組みは以下URLをご覧ください。

[ダイバーシティ推進センター] <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

[富山大学ダイバーシティ推進宣言]

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/gender-equal/>

○ 若手研究者の積極的な応募を歓迎します。

以 上